# 



平成 25 年 1 月発行 (平成 25 年 7 月 4 日改訂)

朝霞市役所都市計画課

# 基地跡地歴史勉強会について

平成 22 年 4 月に策定された「朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画」では、「基地の歴史を後世に伝えていくこと」が公園の役割の1つとして位置づけられました。

米軍基地の歴史は、忘れたい負の遺産という考えもありますが、米軍基地とともに歩んできた 朝霞市の歴史を学び、若い世代に伝えていくことは、平和への正しい認識を持ち、郷土愛を育む ことになると考えます。

朝霞市都市計画課では、平成22年度から、基地の歴史、特に基地周辺に住んでいた市民の方の暮らしに着目して調査し、勉強会を通じて市民の方に発信してきました。

# これまでの活動報告

## ①基地跡地の歴史調査報告会~キャンプドレイクがあった頃の人々のくらし~ (平成23年7月)

米軍基地周辺で暮らし、当時の様子をよく知る方へのヒアリング調査を通じて、短編映像「キャンプドレイクがあった頃」を作製しました(早稲田大学佐藤洋一教授の製作・監修)。

平成 23 年 7 月に、映像の上映会を行うとともに、今後の歴史調査について意見交換会を行いました。



#### ②第1回 第2回 基地跡地歴史勉強会(平成24年1、3月)

前年度の調査で、多くの市民の方が、米軍基地があった頃をご存じで、当時の資料を持たれていることが明らかになったことを受けて、市民同士で学び合う「基地跡地歴史勉強会」を開催しました。

話題提供者として、朝霞の歴史を幅広く研究されている有永克司さん(朝霞市民)を迎え、「近現代朝霞の歴史ダイジェスト」「朝霞の点描:戦前の朝霞の暮らしとキャンプドレイク」というタイトルで2回お話をいただきました。



また、勉強会の後に、今後市民が主体で歴史調査を行う場合、どのような取組をしたいか話合い、「当時を知る方への聞き取り」や「ジオラマ作成」などが意見として出されました。

# ③第3回 第4回 第5回 基地跡地歴史勉強会(平成24年11月、平成25年1月)

今年度は、全3回の勉強会を予定しています。

11月の勉強会は、昨年同様の講義形式で金子眞さんをお迎えしての勉強会、1月の勉強会は、狭山市立博物館で開催されている「ジョンソン基地とハイドパーク展」を見学に行き、展示の目的や市民の関わり方など、朝霞の歴史調査に参考になる点を学びました。3月は、これまでの勉強会を踏まえて、市民が主体で「基地の歴史をどう伝えるか」を考える会にします。



# 狭山市立博物館の見学会(1月12日開催)

# 展示の内容

#### 〇ハイドパークのジオラマ

展示室中央に、1/150 スケールの大ジオラマが展示されていました。このジオラマは、学芸員の指導の下、博物館ボランティアの方6名が中心となり約3か月かけて作られたものです。廃物利用のため、費用は数万円で済んだそうです。

#### 〇当時を知る方への聞き取り

ジョンソン基地やハイドパークのことを知る方への聞き取り調査を行い、写真や出来事とともに展示していました。聞き取りは、学芸員が中心に行い、50~60人の方を対象に、1人平均3時間かけて行ったそうです。



ハイドパークのジオラマ

## 〇看板や軍服などの物品展示

ジョンソン基地やハイドパークに関連する写真、看板、軍服などが展示されていました。 資料の約9割は、市民の方や協力機関から借りているものです。聞き取り調査の際に、人 づてに紹介していただきながら、資料の収集を行ったそうです。

# 博物館の方、ボランティアの方との意見交換(主なものの抜粋)

Q:このテーマにしたきっかけは。

A: 近現代も歴史であり、博物館のある場所の歴史を知ることも重要。ただ、基地単独では 扱いづらい部分があり、「アメリカ文化に触れた頃」という副題を付けた。

Q:基地のジオラマは作れなかったのか。

A: 平面図と建物の写真があればできるが、写真を集めることが難しい。

Q:聞き取り調査のルールやポイントは。

A:ルールは決めていないが、雑談から始めて少しずつ聞いていくようにすると話しやすい 雰囲気ができた。

Q:歴史の負の部分はどう表現したのか。

A: 興味ある部分ではあるが、冊子として取りまとめて良いのか迷った。話したくないという方も多く、それを記録することは胸が痛い。冊子には積極的には盛り込んでいない。

#### < 佐藤先生のコメント>

「想い」を形にすることで、伝わるようになる。冊子、ジオラマなど形にすることが重要。 朝霞でもゴールを見つけて取組むと良いと思う。

<歴史を伝える方法の1つとして、紙芝居を披露しました>

市民の田中さんが、自分の子供の頃の遊びをテーマに紙芝居を作製してくださいました。 臨場感のある絵と面白いエピソードの紹介で、好評をいただきました。



ご意見、お問い合わせ先は